

令和元年定例会
予算決算常任委員会 環境生活農林水産分科会 説明資料

(所管事項説明)

1 令和2年度当初予算要求状況について

令和元年 12 月
農 林 水 産 部

令和2年度当初予算要求総括表(農林水産部)

○ 款別総括表

(単位:千円)

区 分	(A)令和元年度 6月補正後予算額	(B)令和2年度 当初予算要求額	前年度比較 増減(B)-(A)	(B) / (A)
一般会計	(40,527,805)		(▲1,033,886)	(97.4%)
	34,903,043	39,493,919	4,590,876	113.2%
農林水産業費	(38,130,260)		(▲997,357)	(97.4%)
	32,505,498	37,132,903	4,627,405	114.2%
農業費	(10,797,833)		(▲668,013)	(93.8%)
	10,677,577	10,129,820	▲ 547,757	94.9%
畜産業費	(764,448)		(782,534)	(202.4%)
	764,448	1,546,982	782,534	202.4%
農地費	(13,999,727)		(▲1,022,675)	(92.7%)
	9,328,733	12,977,052	3,648,319	139.1%
林業費	(8,060,264)		(163,316)	(102.0%)
	7,696,952	8,223,580	526,628	106.8%
水産業費	(4,507,988)		(▲252,519)	(94.4%)
	4,037,788	4,255,469	217,681	105.4%
災害復旧費	2,397,545		▲ 36,529	98.5%
農林水産施設災害復旧費	2,397,545	2,361,016	▲ 36,529	98.5%
自然公園等施設災害復旧費	0	0	0	-
特別会計	1,236,857		70,101	105.7%
	99,983	98,684	▲ 1,299	98.7%
就農施設等資金貸付事業等	99,983	98,684	▲ 1,299	98.7%
地方卸売市場事業	250,338		24,531	109.8%
	250,338	274,869	24,531	109.8%
林業改善資金貸付事業	566,743		38,633	106.8%
	566,743	605,376	38,633	106.8%
沿岸漁業改善資金貸付事業	319,793		8,236	102.6%
	319,793	328,029	8,236	102.6%
合 計	(41,764,662)		(▲963,785)	(97.7%)
	36,139,900	40,800,877	4,660,977	112.9%

○ 事業別総括表

区 分	(A)令和元年度 6月補正後予算額	(B)令和2年度 当初予算要求額	前年度比較 増減(B)-(A)	(B) / (A)
一般会計	(40,527,805)		(▲1,033,886)	(97.4%)
	34,903,043	39,493,919	4,590,876	113.2%
公共事業	(23,126,634)		(▲915,754)	(96.0%)
	17,763,374	22,210,880	4,447,506	125.0%
国補公共事業	(16,966,248)		(▲811,635)	(95.2%)
	11,695,688	16,154,613	4,458,925	138.1%
直轄事業	(1,007,001)		(▲194,993)	(80.6%)
	1,007,001	812,008	▲ 194,993	80.6%
県単公共事業	(2,024,140)		(343,703)	(117.0%)
	2,024,140	2,367,843	343,703	117.0%
受託公共事業	(731,700)		(▲216,300)	(70.4%)
	639,000	515,400	▲ 123,600	80.7%
災害復旧事業	(2,397,545)		(▲36,529)	(98.5%)
	2,397,545	2,361,016	▲ 36,529	98.5%
非公共事業	(17,401,171)		(▲118,132)	(99.3%)
	17,139,669	17,283,039	143,370	100.8%

※1 令和元年度6月補正後予算額の上段()は平成30年度2月補正予算含みベース

※2 前年度比較増減の上段()は平成30年度2月補正含みと、令和2年度当初予算の比較

令和2年度当初予算要求 施策毎の状況〔一般会計〕(農林水産部)

施策毎の予算要求状況

(単位:千円)

施策番号	施策名	令和2年度 当初要求額
113	災害に強い県土づくり	5,671,170
132	障がい者の自立と共生	28,476
145	食の安全・安心の確保	889,597
147	獣害対策の推進	425,327
153	豊かな自然環境の保全と活用	198,582
154	生活環境保全の確保	151,425
211	人権が尊重される社会づくり	745
253	農山漁村の振興	7,981,920
254	移住の促進	480
311	農林水産業の多様なイノベーションの促進とブランド力の向上	799,385
312	農業の振興	7,669,704
313	林業の振興と森林づくり	4,642,280
314	水産業の振興	3,264,196
	スマート自治体の推進	4,639
	行政委員会	5,325
	人件費	7,760,571
	その他	97
	合 計	39,493,919

太字は、農林水産部の主担施策

24,981,394

令和2年度当初予算 特定政策課題枠事業一覧表（農林水産部）

(3)「未来への希望」「挑戦」を大切にす三重

(単位:千円)

部名	施策	細事業名	事業概要	事業費
農林水産部	132	農福連携「福」の広がり創出促進事業費	農業への障がい者の就労拡大に向け、企業による特例子会社設立を通じて農業参入を促進するとともに、生きづらさや働きづらさを感じている無業の若者等を対象にした就農体験や試行的雇用等を進めます。また、ノウフクJASの認証取得支援を通じて、さらなるノウフク商品の発信に取り組みます。	6,937
農林水産部	253	自然体験活動のフィールドを生かした新たな価値協創事業費	健康経営に関心の高い企業やアクティビティに関心の高いインバウンド等を対象に、アクティブレスト(積極的な休養)の場として県内の自然体験が選ばれるよう、キャンペーンを実施します。また、市町を超えた多様な主体の連携により、「自然体験」「食」「泊」を組み合わせた魅力的なインバウンド向けの評価型モニターツアーを実施し、インバウンドの受け入れ体制強化やプログラムのブラッシュアップを行います。	10,650
農林水産部	311	みえフードイノベーションズイッチ促進事業費	企業等と連携し食に関するさまざまなデータの収集・分析をもとに、県民や三重県を訪れる旅行者等の多様なニーズを把握し、新たな商品やサービスの開発を行います。	3,000
農林水産部	311	みえの農林水産情報発信スマート化事業費	県産農林水産物のデータの見える化と情報発信のスマート化を推進することにより、みえの食が有する本質的な価値への共感を呼び込み、県産農林水産物を活用した商品及びサービスの付加価値向上を図ります。	8,000
農林水産部	311	みえスマートフードチェーン促進事業費	生産現場から加工、流通、販売にいたる、さまざまな事業者が連携して、みえの農業の特色を生かした、データサイエンスに基づくスマートフードチェーンシステムの構築を図ります。	9,000
農林水産部	312	次代の農業を創る多様な働き方総合推進事業費	多様な人材の確保・育成やその人材を農業経営体等とマッチングする仕組みの構築とともに、「働きやすさ」や「やり甲斐」を持てる職場環境・人材の育成体制の整備など「働き方改革」の取組を推進し、多様な労働力を生かして新たなビジネスに挑戦する農業経営体等を育成します。	4,000
農林水産部	312	海外に拠点を持つ旅行事業者等と連携した販路開拓事業費	伊勢茶やみかんの輸出拡大に向け、海外に拠点を持つ旅行事業者等との連携により、現地企業による商品開発等新たな手法を取り入れて海外市場の開拓に取り組みます。	4,000
農林水産部	314	海女による豊かな海づくり事業費	「海女による豊かな海づくり」のため、関係機関と連携し、海女による藻場の管理の仕組みづくり、海の環境変化に対応したアワビ種苗生産の検討、海女によるアワビ養殖の検討、サステイナブルな海女漁業の魅力発信に取り組みます。	5,000
農林水産部	314	次世代型海藻養殖による豊かな伊勢湾再生事業費	各種環境情報のビッグデータをクラウド上に集約し、AI処理することで、海況の可視化、将来予測を行うプラットフォームを整備するとともに、その情報を活用したノリの適正養殖管理技術開発を行い、海況に適応した養殖管理マニュアルを作成します。	4,900
農林水産部	314	スマート水産業実証体制構築事業費	水産業が将来にわたり安定的に継続していくために不可欠な新技術を開発者と連携して研究する等、水産業のスマート化の普及促進を図るための体制を構築します。	2,000
農林水産部	314	「ユニバーサル水産業」による持続可能な漁村構築事業費	高齢者や女性をはじめとする多様な担い手が、体力や年齢にかかわらず、そのライフステージやライフスタイルに合わせて、さまざまな形で水産業に関わる「ユニバーサル水産業」の実現に向けて、ロボット技術等を活用した先端機器の試験導入等による省力化等の効果を評価・検証し、ノウハウの蓄積、利用推進に向けた情報発信等に取り組みます。	5,000
農林水産部	314	環境調和型真珠養殖システム構築事業費	持続的かつ環境に配慮した真珠養殖システムを構築し、サステイナブル、エシカルといった県産真珠のブランドイメージの向上を図るため、真珠養殖業者等の関係者と連携し、真珠養殖廃棄物のコンポスト(堆肥)化技術の開発と普及、真珠養殖による水質浄化機能の評価、アコヤガイ大量へい死の原因究明と対策、国内外でのPRに取り組みます。	3,500

令和2年度県民参加型予算 事業一覧（農林水産部）

17 郷土を支える三重の農林水産品の魅力向上

(単位:千円)

部名	施策	細事業名	事業概要	事業費
農林水産部	311	#SNSを活用したみえの魅力満載食材発信事業費	InstagramやLINE等を活用して、三重県産食材を使用した料理コンテストを開催し、県産食材の魅力、ストーリー、利活用方法を県内外に情報発信します。また、Youtube等動画配信サービスを活用して、調理方法や食材情報を動画配信し、県産食材の認知度向上や新たなメニュー化など利活用の可能性を広げることで、世界で選ばれる三重県産農林水産品をめざします。	9,984

令和2年度スマート自治体推進事業一覧（農林水産部）

(単位:千円)

部名	施策	細事業名	事業概要	事業費
農林水産部	行運6	農林水産部ペーパーレス化推進事業費	業務の削減、勤務時間の縮減を目的に、部内で、ペーパーレス会議の開催、職員への研修、紙資料の電子化を実施し、ペーパーレス化を推進します。	4,639

令和2年度当初予算要求 新規事業一覧(一般会計)(農林水産部)

事業名の前に付いている各記号の意味は、以下のとおりです。

「※」…一部新規を含むもの(事業費は新規分のみを計上)

「◎」…市町予算と関係があると思われるもの

「◇」…令和2年度特定政策課題枠のもの

(単位:千円)

施策番号	部局名	事業名称	事業費
132	農林水産部	◇ 農福連携「福」の広がり創出促進事業費	6,937
132		※ 農福連携ネットワーク形成・強化事業費	7,845
147		野生イノシシ捕獲強化事業費	58,500
153		※ 野生生物保護事業費	3,996
253		◇ 自然体験活動のフィールドを生かした新たな価値協創事業費	10,650
311		◇ みえフードイノベーションスイッチ促進事業費	3,000
311		◇ みえの農林水産情報発信スマート化事業費	8,000
311		◇ みえスマートフードチェーン促進事業費	9,000
311		# SNSを活用したみえの魅力満載食材発信事業費	9,984
312		◇ 次代の農業を創る多様な働き方総合推進事業費	4,000
312		◇ 海外に拠点を持つ旅行事業者等と連携した販路開拓事業費	4,000
313		※ ◎ みえ森と緑の県民税市町交付金事業費	10,000
313		※ みえ森林・林業アカデミー設置・運営事業費	3,828
313		※ 「もっと県産材を使おう」推進事業費	2,537
314		県産水産物の品質向上による水産業の成長産業化事業費	1,104
314		◇ 海女による豊かな海づくり事業費	5,000
314		◇ 次世代型海藻養殖による豊かな伊勢湾再生事業費	4,900
314		◇ スマート水産業実証体制構築事業費	2,000
314		◇ 「ユニバーサル水産業」による持続可能な漁村構築事業費	5,000
314		◇ 環境調和型真珠養殖システム構築事業費	3,500
行運6		農林水産部ペーパーレス化推進事業費	4,639
		農林水産部 計	168,420

事業の見直し調書 (農林水産部)

(注)調書の各記号の意味は、以下のとおりです。
 「◇」…令和元年度特定政策課題枠のもの
 「□」…令和2年度特定政策課題枠のもの
 「◎」…市町予算と関係があると思われるもの
 「▲」…いわゆる「当然減」によるもの

(単位：千円)

番号	施策番号	事業番号	事業名	区分			令和元年度	令和2年度	差引		説明								
				廃止	リフォーム	休止	6月補正後予算額A	当初要求額B	B-A										
◇	◎	▲	▲	53								農林水産物の東京オリ・パラに向けた総合推進事業費	1			2,423	0	-2,423	事業実施期間終了に伴い廃止する。
			▲	64								サミットのレガシーを活用した海女漁業活性化事業費	1			1,083	0	-1,083	事業実施期間終了に伴い廃止する。
			▲	65								三重ノリ生産・販売体制構築事業費	1			1,779	0	-1,779	事業実施期間終了に伴い廃止する。
			▲	66								海女漁業の魅力向上事業費	1			303	0	-303	事業実施期間終了に伴い廃止する。
			▲	67								東京オリ・パラに向けたみえの水産物販売力強化事業費	1			1,526	0	-1,526	事業実施期間終了に伴い廃止する。
			▲	68								海女等みえの漁業者の所得向上モデル構築事業費	1			999	0	-999	事業実施期間終了に伴い廃止する。
◇				57								園芸品目輸出対応産地形成支援事業費	1			3,094	0	-3,094	農産物の輸出について、新たな手法を取り入れ、海外に拠点を持つ旅行事業者等と連携した販路開拓事業費として取り組むため、当事業については廃止する。
				廃止小計									7	0	0	11,207	0	-11,207	
				54	311	31101						みえフードイノベーション総合推進事業費 (旧 みえフードイノベーション総合推進事業費) (旧 みえ農林水産ひと結び塾事業費)		1		76,669	72,530	-4,139	人材育成に関する事業をより効率的に実施するため、みえ農林水産ひと結び塾事業費をフードイノベーション総合推進事業費に統合する。
				55	312	31201						三重の水田農業構造改革総合対策事業費 (旧 三重の水田農業構造改革総合対策事業費) (旧 ゴマ新需要創出産地支援事業費)		1		128,790	331,969	203,179	事業をより効率的に実施するため、ゴマ新需要創出産地支援事業費を三重の水田農業構造改革総合対策事業費に統合する。 (リフォームによる削減効果は239千円)
				56	312	31201						園芸特産物生産振興対策事業費 (園芸特産物生産振興対策事業費) (旧 東京オリ・パラに向けた三重の農産物販売力強化促進事業費)		1		286,965	59,525	-227,440	事業をより効率的に実施するため、東京オリ・パラに向けた三重の農産物販売力強化促進事業費を園芸特産物生産振興対策事業費に統合する。
				58	312	31202						みえの畜産物供給体制確立事業費 (旧 東京オリ・パラへの畜産物供給体制構築事業費)		1		16,668	8,707	-7,961	東京オリ・パラへの畜産物供給体制構築事業費のうち、「みえ生まれみえ育ちの高品質ブランド和牛供給体制構築事業」において終了した研究については削減を行い、これまでに得られた成果を活用し、高ゲム和牛受精卵の供給体制の構築等を目指す事業に見直して実施する。
				59	312	31104						畜産農場認証制度等導入促進事業費 (旧 JGAP家畜・畜産物等の導入加速化推進事業費)		1		5,013	3,181	-1,832	JGAP指導員資格の取得職員が一定数確保できたため、新たな資格取得研修に係る費用を削減する。今後は、畜産農場における早期の認証取得を目指すため、人材育成や衛生管理の指導を中心とした事業に見直して実施する。
◎				60	154	15402						団体畜産業集落排水整備促進事業費 (旧 団体畜産業集落排水整備促進事業費) (旧 団体畜産業集落排水整備支援事業費)		1		224,347	151,425	-72,922	事業をより効率的に実施するため、団体畜産業集落排水整備支援事業費を団体畜産業集落排水整備促進事業費に統合する。

事業の見直し調査 (農林水産部)

(注)調査の各記号の意味は、以下のとおりです。
 「◇」…令和元年度特定政策課題枠のもの
 「□」…令和2年度特定政策課題枠のもの
 「◎」…市町予算と関係があると思われるもの
 「▲」…いわゆる「当然減」によるもの

(単位:千円)

番号	施策番号	事業番号	事業名	区分			令和元年度	令和2年度	差引 B-A	説明
				廃止	リフォーム	休止	6月補正後予算額A	当初要求額B		
◇	61	253	25301		1		15,277	13,244	-2,033	事業をより効率的に実施するため、情報発信の内容を見直して実施する。
◎	63	147	14701		1		252,119	311,238	59,119	補助金の目的を一定達成したため、地域捕獲力強化促進事業補助金を廃止する。(リフォームによる削減効果は1,000千円)
リフォーム小計				0	8	0	1,005,848	951,819	-54,029	
▲	62					1	3,000	0	-3,000	令和2年度は国営等関連特別県単事業費の要件に該当する事業がないため、休止する。
◎	69					1	285	0	-285	令和2年度は事業の実施箇所がないため休止する。
休止小計				0	0	2	3,285	0	-3,285	
合計				7	8	2	1,020,340	951,819	-68,521	